

発議案第2号

国における令和4年度教育予算拡充に関する意見書について

上記発議案を別紙のとおり、白井市議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和3年12月17日提出

白井市議会議長 岩田 典之 様

提出者	白井市議会議員	影山 廣輔
賛成者	白井市議会議員	小田川敦子
	〃	和田健一郎
	〃	徳本 光香
	〃	岡田 繁

提案理由

未来を担う子どもたちの健全育成を目指し、豊かな教育を実現するため。

## 国における令和4年度教育予算拡充に関する意見書（案）

教育は、憲法・子どもの権利条約の精神に則り、日本の未来を担う子どもたちを心豊かに教え、育てるという重要な使命を負っている。しかし現在、日本の教育は「いじめ」、「不登校」、少年による凶悪犯罪、さらには経済格差から生じる教育格差・子どもの貧困等、さまざまな深刻な問題を抱えている。また、東日本大震災、原子力発電所の事故、さらに各地で地震や豪雨、台風などの大規模災害が立て続けに発生した。災害からの復興は未だ厳しい状況の中にあるといわざるをえない。さらに、新型コロナウイルス感染症は、学校教育活動にも支障をきたしている。

一方、国際化・高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進、さまざまな教育諸課題に対応する教職員定数の確保等が急務である。

千葉県及び県内各市町村においても、一人一人の個性を尊重しながら、生きる力と豊かな人間性の育成をめざしていく必要がある。そのためのさまざまな教育施策の展開には、財政状況の厳しい現状を見れば、国からの財政的な支援等が不可欠である。充実した教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層進める必要がある。

そこで、以下の項目を中心に、令和4年度にむけての予算の充実をしていただきたい。

- ・災害からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること
  - ・少人数学級を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
  - ・保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること
  - ・現在の経済状況を鑑み、就学援助や奨学金事業に関わる予算をさらに拡充すること
  - ・子どもたちが地域で活躍できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること
  - ・老朽化等による危険をともなう校舎・ブロック塀の改築や、更衣室、洋式トイレ、空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること
  - ・子どもの安全と充実した学習環境を保障するためスクールバスなど通学路の安全対策等、財政措置を講じること
  - ・感染症に伴う臨時休校等の様々な措置により、児童・生徒が健康面・学習面で不安やストレスを感じることがないように財政措置を講じること
- など

国においては、教育が未来への先行投資であり、日本の未来を担う子どもたちに

十分な教育を保障することが、国民の共通した使命であることを再認識され、国財政が非常に厳しい状況の中ではあるが、必要な教育予算を確保することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月17日  
千葉県白井市議会

提出先

内閣総理大臣	岸田 文雄
財務大臣	鈴木 俊一
文部科学大臣	末松 信介
総務大臣	金子 恭之